



広報
NO.1317

やちよ

2023年(令和5年)

1月1日号

●八千代の人口 20万4,740人(+175人) 男 10万1,058人(+95人) 女 10万3,682人(+80人) ●八千代の世帯 9万5,154世帯(+117世帯) 11月末現在。()内は前月比

賀正

2200人のランナーが力走

ニューリバーロードレースin八千代3年ぶり開催



▲市民会館前をスタートする10マイルレースの参加者

12月4日、ニューリバーロードレース in 八千代が3年ぶりに開催され、約2,200人のランナーが晴天の中、力走しました。

コースは5km、10km、10マイル。10マイル一般男子の部では村東中学校陸上競技部顧問の清水大さんが5連覇を達成。清水さんは「沿道の声援や学校、生徒の応援のおかげで優勝できました。私のしたことが生徒の励みになってくれたら嬉しいです」と話しました。

講座・イベントへ参加するときは

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、発熱などの体調不良の場合は参加を控えてください。感染状況により、イベントなどは中止・延期になる場合があります。市ホームページや主催者に問い合わせ、最新情報を確認してください。

明けましておめでとうございます。昨年、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、世界情勢が不安定となり、原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等により、市民生活や経済活動に深刻な影響を及ぼす年となりました。

このような状況ではございましたが、本市では、ふるさと親子祭、どんと祭、源右衛門祭の3つの祭りを統合した八千代市民祭2022が開催され、多くの人で賑わい、打ち上げ花火が秋の夜空を彩るなど、明るい兆しも見られたところです。

また、関係機関と連携したワクチン接種による感染拡大防止を着実に取り組むとともに、市独自の支援策として、水道料金の基本料金免除やキャッシュレス決済ポイント付与事業を実施するなど、市民・事業者の皆さまの経済的な負担の軽減と消費喚起に努めてまいりました。

本年の取り組みとしては、児童発達支援センター・子ども支援センターすてっぷ21大和田の整備、待機児童の解消に向けた保育園の低年齢児の定員拡大、介護保険施設の整備事業者への支援、道の駅やちよの防災機能の強化などを実施するほか、児童・生徒が急増している西八千代地区の小中学校等の対応策を引き続き検討してまいります。

また、市ホームページのリニューアルによる分かりやすい情報発信を行うとともに、引き続き行政手続きのデジタル化・オンライン化を進めることで、市民の皆さまの利便性向上に向けた取り組みを推進してまいります。

さらに、目指すべき将来都市構造や土地利用の方針等を示す次期都市マスタープランを策定いたします。

第5次総合計画に掲げた将来都市像「人がつながり 未来につなぐ 緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ」の実現を目指し、乳幼児から高齢者までが安心して暮らすことができ、未来に希望が持てるまちづくりを推進してまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして、健やかで素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。



八千代市長
服部 友則

未来に希望が持てる
まちづくりを